

ミニコング RX 取扱説明書

この度は、ミニコング RX をお買い求め頂きまして誠にありがとうございます。
本機を正しくお使いいただくために必ずこの取扱説明書をお読みにになり、各機能を充分
ご理解の上ご愛用ください。
尚、お読みにになった後もこの取扱説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。

検 査

担当者	

柳瀬株式会社

本社・工場 兵庫県丹波市山南町谷川 1385

東京 / 名古屋 / 大阪 / 広島 / 九州

TEL.0795-77-2151

<http://www.yanase-saving.com>

E-mail: info@yanase-saving.com

柳瀬株式会社

安全上のご注意

警告 (人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています)

- 作業中は必ず目の保護のための安全保護メガネ、粉じん対策のための防じんマスク等を着用してください。作業中に発生する切り粉、粉じん等によって思わぬ損害を負う恐れがあります。
- コントロールボックスを傾いた所や、ぐらついた台の上など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりしてケガの原因となることがあります。
- 煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常が発生した場合、すぐにメインスイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、修理をご依頼ください。異常な状態を放置したまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 分解・改造をしないでください。性能・安全などに重大な影響を及ぼしたり、また故障、火災、感電の原因となります。
- 本機に表示された入力電圧以外では使用しないでください。火災、感電の原因となります。
- 通気口をふさがしないでください。過熱して火災・故障の原因となります。

注意 (人が損害を負ったり、製品が故障する可能性がある内容を示しています)

- 湿気の多い場所 (風呂場など)、及び腐食性のガスや化学薬品の多い場所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- 結露の発生しない状態で使用してください。結露した状態で使用すると火災・感電の原因となります。気温・室温が 0 ~ 40℃ の範囲で使用してください。この範囲外の環境で使用すると故障の原因となります。
- 子供には絶対に操作させないでください。また、子供の手の届かない場所に保管してください。
- 物を当てたり、落下させるなどの強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- 粉じん、油、水が内部に入らないようにご注意ください。万一、内部に液体や異物が入った場合、メインスイッチを切って電源プラグをコンセントから抜き、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 電源コードの上に重い物を乗せないでください。傷がついて火災・感電の原因となります。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて火災・感電の原因となることがあります。
- 電源コードのプラグを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
- 本機はプラスチックと金属部品でできていますの使用時には火や熱源に近づけないでください。
- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
- シンナー、ベンジン、アルコールなどでプラスチック部分を拭かないでください。変質、変色の恐れがあります。
- 作業場を離れるときは、安全のためメインスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ヒューズを交換する際は、電源プラグがコンセントから抜かれていることを確認してから行ってください。またヒューズは必ず同等のものと交換してください。

故障かなと思ったら…

● 速度表示が出ない

電源コードは接続されていますか？	電源コードがコントロールボックスにきちんと接続されているか確認してください。
ヒューズが切れていませんか？	新しいヒューズに交換してください。

● ボタンが反応しない

ビープ音の後、反応を確認してください。	反応がない場合はご購入販売店にお問い合わせください。
---------------------	----------------------------

● ハンドピースが熱い

連続使用による発熱の場合 過負荷による発熱の場合	しばらく停止してからご使用ください。 しばらく使用を停止し、温度が下がってから再度ご使用ください。
-----------------------------	--

● ハンドピースが動かない

コレットチャックが開いていませんか？ ハンドピースは完全に接続されていますか？	コレットチャックがきちんとロックされているか確認してください。 ハンドピースのコードがコネクタにきちんと接続されているかご確認ください。
--	---

● ハンドピース使用中に異音がする

先端パーツを通した使用条件及び回転数で使用していますか？ 先端パーツの軸が曲がっていませんか？ コレットチャックが開いていませんか？	先端パーツの最高使用回転数をご確認いただき、その回転数以下でご使用ください。 軸の曲がっていない先端パーツをご使用ください。 コレットチャックがきちんとロックされているか確認してください。
--	--

● フットスイッチで作動しない

コントロールボックスのフットペダルコネクタに完全に接続されていますか？ ハンドモードに設定されていませんか？	もう一度コントロールボックスのフットペダルコネクタに完全に接続されているかご確認ください。 フット/ハンドモード切替ボタンを押して、FOOT にランプが点灯しているかご確認ください。
---	--

● ディスプレイに"E1"または"E5"が点灯

コントロールボックス内部の基板が損傷している可能性がありますので、速やかにご購入販売店にお問い合わせください。

● ディスプレイに"E2"が点灯

過負荷状態で使用していませんか？	コントロールボックスのメインスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き 15 分以上休ませてから再度作動させてください。
------------------	--

● ディスプレイに"E3"が点灯

電圧異常の可能性がります。

● ディスプレイに"E4"が点灯

ハンドピースは確実に接続されていますか？ 先端パーツは回転していますか？ 先端工具は確実にロックされていますか？	もう一度ハンドピースがコントロールボックスのハンドピースコネクタに接続されているかご確認ください。 通電後、5 秒間モーターの回転が検知できない場合、保護のため停止します。 もう一度先端工具が確実にロックされているかご確認ください。
--	--

● ディスプレイに"E6"が点灯

過負荷状態のため発熱していませんか？	温度異常の可能性がります。
--------------------	---------------

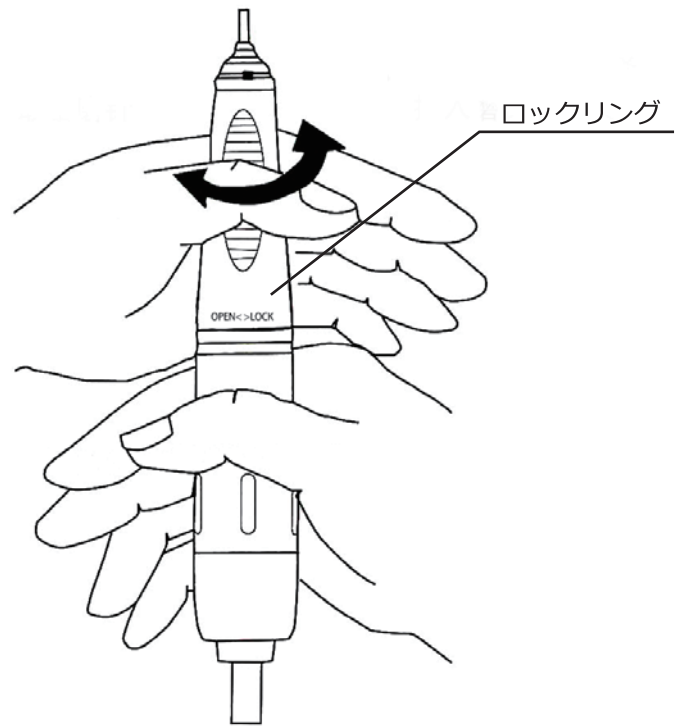
先端パーツの着脱方法

取り外す

ロックリングを OPEN の方向（左方向）に回す

固定する

ロックリングを LOCK の方向（右方向）に回す



ハンドピースの中心部を“カチッ”と音がして戻らなくなるまで左方向へ回します。装着していた先端パーツを抜き、別の先端パーツを装着します。中心部を右方向に“カチッ”と音がするまで戻すとコレットチャックが閉じて先端パーツが装着されます。

注意

長時間高速回転で使用を続けているとハンドピースとコントロールボックスの寿命が短くなります。ハンドピースが完全に停止したのを確認してから電源を切ってください。ハンドピースを長期使用しない場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。

注意

使用する先端パーツの種類によってはハンドピースに負荷がかかりすぎて使用できないものもあります。負荷がかかり過ぎると警告音と同時にハンドピースが停止します。頻繁に停止するようであればその先端パーツは使用に適していませんので使用しないでください。

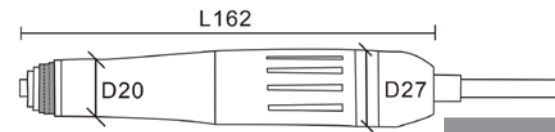
注意

ハンドピースコードを抜く際は、必ずプラグの部分を持って引き抜いてください。コードを持って引き抜くと断線する恐れがあります。

仕様

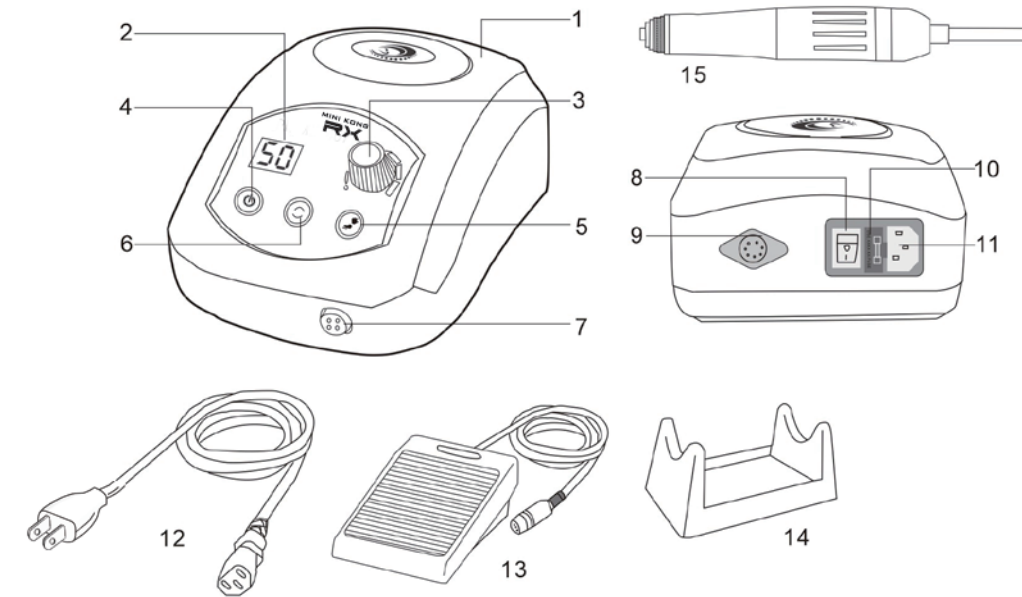


コントロール BOX	入力電圧 : AC100-120V 50/60Hz
ヒューズ : 4A	最大負荷電流 : 2A
本体寸法 : W160×H100×D210mm	本体重量 : 2.31kg



ハンドピース	出力 : 210W
最高回転数 : 50,000min ⁻¹	最大トルク : 7.2N.cm
全長 : 162mm(ケーブル部含まず)	本体重量 : 193g(ケーブル部含まず)

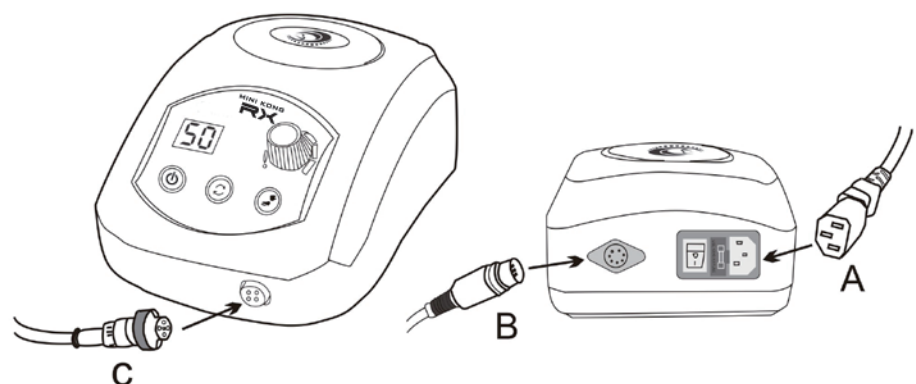
各部の名称



- | | |
|----------------------|------------------|
| 1. コントロールボックス | 9. コネクター（フットペダル） |
| 2. ディスプレイ | 10. ヒューズホルダー |
| 3. 変速ダイヤル | 11. 電源コード差込口 |
| 4. 電源 ON/OFF ボタン | 12. 電源コード |
| 5. ハンド / フットモード切替ボタン | 13. フットスイッチ |
| 6. 正転 / 逆転切り替えボタン | 14. ハンドピースホルダー |
| 7. コネクター（ハンドピース） | 15. ハンドピース |
| 8. メインスイッチ | |

操作方法

- ①まず最初にコントロールボックスのメインスイッチが OFF になっていることをご確認ください。
- ②各種コードを接続します。(下図ご参照ください)
 - A: 電源コードをコントロールボックスの差込口に挿入します。
 - B: フットペダルを使用する場合は、フットペダルをコネクタに挿入します。
 - C: ハンドピースをコネクタに挿入します。



- ③コントロールボックスの変速ダイヤルを 0 の位置に合わせてください。
- ④ハンドピースのロックリングを回し、チャックがしっかりと固定されているか確認します。
- ⑤片手でハンドピースを持ち、もう一方の手でコントロールボックスのメインスイッチを ON にします。
メインスイッチを ON にすると、ランプが緑色に点灯し、ディスプレイに数字が表示されます。
メインスイッチを OFF にすると緑色のランプが消え、ディスプレイの数字が消えます。
- ⑥HAND/FOOT ボタンの切り替えで操作方法を選択します。
- ⑦FWD (正転) /REV (逆転) 切り替えボタンで回転方向を選択します。
- ⑧電源 (ON) ボタンで始動 / 停止の操作をします。
ハンドモードの場合、電源を ON にした後、変速ダイヤルを調整してください。
フットモードの場合、最初に変速ダイヤルを任意の回転数に設定します。フットスイッチを踏み込むとハンドピースが作動し、あらかじめ設定された回転数を上限に回転数の調整ができます。
- ⑨過負荷となった場合、コントロールボックスが自動停止し、5 秒後に警告音が鳴り「--」と表示されます。
自動停止した場合、電源 (ON) ボタンを 2 度押しすると復帰します。



注意

すべてのコードを接続後、周囲の安全を確認してから電源プラグをコンセントに差し込んでください。

ハンドピース取扱説明書

安全上のご注意

⚠ 警告 (人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています)

- 作業中は必ず目の保護のための安全保護メガネ、粉じん対策のための防じんマスク等を着用してください。作業中に発生する切り粉、粉じん等によって思わぬ損害を負う恐れがあります。
- 煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常が発生した場合、すぐにメインスイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、修理をご依頼ください。異常な状態を放置したまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 絶対に改造や分解はしないでください。安全性や性能などに重大な影響を及ぼしたり故障、火災、感電の原因となります。
- スイッチを入れるときは、しっかりと動かないようにハンドピースを持ってください。
- 危険ですので先端パーツ等の回転体に触れないでください。

⚠ 注意 (人が損害を負ったり、製品が故障する可能性がある内容を示しています)

- 湿気が多い場所 (風呂場など)、及び腐食性のガスや化学薬品の多い場所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- 結露の発生しない状態で使用してください。結露した状態で使用すると火災・感電の原因となります。
気温・室温が 0 ~ 40℃の範囲で使用してください。この範囲外の環境で使用すると故障の原因となります。
- 子供には絶対に操作させないでください。また、子供の手の届かない場所に保管してください。
- 物を当てたり、落下させるなどの強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- 粉じん、油、水が内部に入らないようご注意ください。万一、内部に液体や異物が入った場合、メインスイッチを切って電源プラグをコンセントから抜き、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

メンテナンスについて

- ハンドピースは清潔な場所に保管してください。
- ハンドピースは内部に水気が入らないように注意しながら消毒用アルコール等で汚れを拭き取ってください。
水やオイルは内部のグリースが溶ける可能性があるため使用しないでください。
- エアーによる洗浄は可能ですが、空気圧が高い場合はハンドピース内部に影響を与える可能性がありますのでご注意ください。